

株式会社ALIS ご紹介資料



株式会社ALIS

資料の構成

1. 株式会社ALISの紹介
2. ブロックチェーンがもたらす構造変化について

株式会社ALISについて

ALISの目指すビジョン

信頼の可視化で人の繋がりをなめらかにする



リクルートグループ全体の企画部門最高賞を受賞したメンバーで立ち上げ



MASAHIRO YASU

FOUNDER / CEO

- 京都大学で核融合の研究を専攻
- 新卒で株式会社リクルートに入社。ビジネスSNS・名刺管理アプリ・リファラルツール等のHRTech領域で新規事業開発に従事
- 日本マイクロソフトとの共同プロジェクトのプロジェクトリーダーも兼ねる
- 2016年リクルートグループで10名のプロデューサーに贈られる最高賞であるGROWTH FORUMを受賞



TAKASHI MIZUSAWA

CO-FOUNDER / CMO

- 立命館大学在学中にベンチャー企業を創業
- 新卒でベネッセコーポレーションに入社。学生向けSNSの新規立ち上げや進研ゼミのマーケティングに従事。入社1年目に全社マーケティング部門MVPを受賞
- リクルートキャリアへ転職。MOOCやリファラルツールの事業開発に携わりながら、コミュニティ共創型の事業開発に没頭する



SOTA ISHII

CO-FOUNDER / CTO

- 業界歴13年超のエンジニア
- 新技術や未経験の業務を好み、役割や技術を問わず意識的にゼネラリストを指向
- 暗号通貨、ブロックチェーンの技術動向は2013年より追っておりWEBの「次」を作る中核技術であると確信
- その流れを推し進めることに強い関心があり、安・水澤と共にALISをスタート

ハイスキルで業界内影響力を持つ17名のチーム構成

国内有数のブロックチェーン開発チーム



KEIJU TOGASHI
LEAD ENGINEER

- エンジニア経験12年
- BtoB & BtoCサービスで、インフラからフロントエンドまでマルチに対応するフルスタックエンジニア
- ServerlessconfやHi-Etherなどのサーバレス、ブロックチェーン関連イベントで複数登壇



GO HAYAKAWA
ENGINEER

- 会社サイバーエージェントに入社し、ソーシャルゲームの新規開発や同社の基盤技術の開発に従事
- その後、株式会社トランスリミットにて、世界中にユーザーを持つスマートフォンゲームの新規開発および執行役員として組織マネジメントも経験



TAKAHIRO HORIKE
ENGINEER

- WordPressやServerlessといったオープンソースコミュニティに参加し、多数のOSSプロダクトを開発。Serverless Frameworkのコミッター。
- Serverlessのテクノロジーを中心に国内外のイベント登壇でも積極的に情報を発信している



MASAYA ISHIZAKA
DESIGNER

- 桑沢デザイン研究所 (kuwasawa design school) 卒業後、フリーランスデザイナーとして活動
- 中国で初となるカンヌライオン金獅子賞 (サイバー部門) を受賞
- 国内ブロックチェーンエンジニア最大コミュニティHi-Conの創立メンバー

バックオフィス



KEN KAWAI
LEGAL ADVISOR

- 顧問弁護士
- 仮想通貨、イニシャル・コイン・オフリング及びブロックチェーンに関して、特に多くの案件を取り扱うほか、自主規制団体の法律顧問を務め、また、内外の公的機関等への政策アドバイスにも積極的に取り組んでいる



KENTO NUMASAWA
ADVISOR

- 顧問会計士
- 株式会社Aerial Partners代表取締役
- 仮想通貨取引計算サポートと税理士紹介を行う『Guardian』、仮想通貨取引計算ツールである『G-tax』を提供
- 一般社団法人日本仮想通貨税務協会理事も兼任

※コアメンバーのみ抜粋

全体では、エンジニア7名、UI/UXデザイナー2名、ビジネスサイド2名、バックオフィス4名の体制

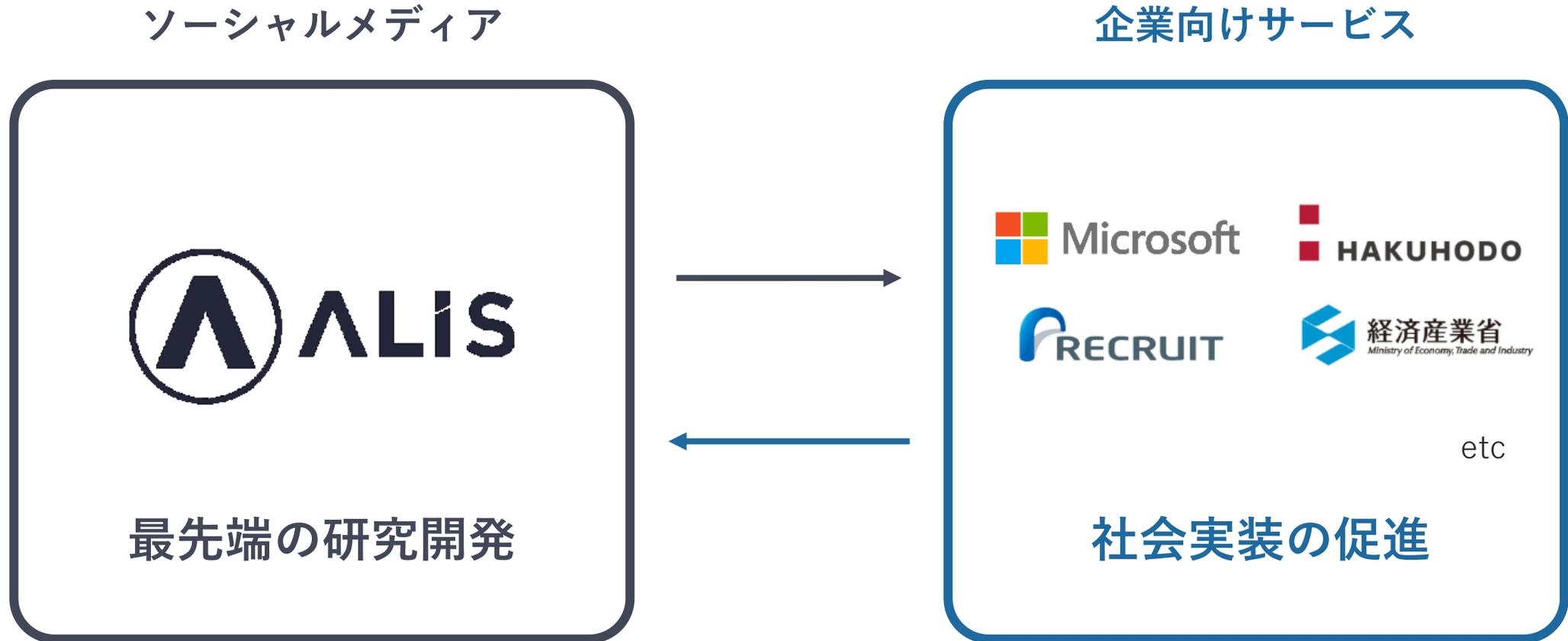
ALISが運営する個人向けメディア(β版)について



- 個人が投稿した記事をみんなで評価するソーシャルメディア
- いいねを獲得した記事を書いた人と、**信頼できる記事にいち早くいいねした人**に報酬としてALISトークンを配布する
- 上記のトークン配布ロジックが、従来は記事を見てもえなかった投稿者へのフィードバックを起こす

<https://alis.to/>

2019年4月から企業向けサービスの提供を開始。業界影響力を持つ企業から戦略的に支援



※これまでにALISがコンサルティング・開発サポートをさせていただいた企業の一部を抜粋

ブロックチェーンに関する協業・受託の一例（公開できるもののみ）

■ 博報堂様との協業

ALISと博報堂がトークンエコノミーにおける価値交換プロセスの共同研究を開始
グラフ理論をベースとしたネットワーク分析を応用。トークンを介した価値や信頼の移動を促す要因を特定

株式会社ALIS 🕒 2018年11月30日 07時57分

412
👍 いいね!
🔗 シェア

🐦 ツイート 📺 はてな 📄 画像DL ⋮ その他

ブロックチェーン技術を活用したソーシャルメディアの運用・構築を行うALISと博報堂がトークンエコノミーにおける価値交換プロセス共同研究のための協業を開始しました。グラフ理論をベースとしたネットワーク分析を応用し、ALISトークンを介した価値や信頼の移動を促す要因を分析しながら、国内ブロックチェーン業界の健全な普及に貢献していきます。

 × 

ブロックチェーン技術を活用したソーシャルメディアの運用・構築を行う株式会社ALIS(本社：東京都渋谷区／代表取締役 社長：安昌浩、以下、ALIS)と株式会社博報堂(本社：東京都港区／代表取締役 社長：水島 正幸、以下博報堂)は、2018年11月30日から、国内ブロックチェーン業界の発展および、トークンエコノミーの実現加速を目指した共同研究を開始します。

■ マイクロソフト様との協業

業界初、ALISとマイクロソフトが投げ銭API開発のための協業を開始
～ブロックチェーン技術の利点を生かした「投げ銭」でトークンエコノミーを加速～

株式会社ALIS 🕒 2018年9月4日 08時00分

856
👍 いいね!
🔗 シェア

🐦 ツイート 📺 はてな 📄 画像DL ⋮ その他

ブロックチェーン技術を活用したソーシャルメディアの運用・構築を行うALISと日本マイクロソフトが「投げ銭」API開発のための協業を開始しました。ブロックチェーン技術を活用した仮想通貨やトークンによる「投げ銭」機能を実装、実社会に適応させていくことでトークンエコノミー時代の価値の移動をスムーズにしなが、国内ブロックチェーン業界の健全な普及に貢献していきます。

 × 

ブロックチェーン技術を活用したソーシャルメディアの運用・構築を行う株式会社ALIS(本社：東京都渋谷区／代表取締役 社長：安昌浩、以下、ALIS)と日本マイクロソフト株式会社(本社：東京都港区／代表取締役 社長：平野 拓也、以下日本マイクロソフト)は、2018年9月4日から、トークンエコノミーの実現加速を目指し、EthereumのPoAチェーンでの投げ銭API開発のための協業を開始します。

特徴1 - ブロックチェーン開発力と堅牢なセキュリティ

- 数十億円規模の金銭に準じたトークン搭載サービスをリリース以来無事故・無停止で運用(可用性100%)
- 他業界よりも遙かに高いセキュリティ水準が求められる金融領域での強い実績を誇る
- AWSやMicrosoftからも質の高いシステム設計・運用が認められ、両社の公式イベントで多数登壇

2019年08月23日 AWS大規模障害

アマゾンクラウド「AWS」で大規模障害

金融機関 ネット・IT サービス 食品 小売り・外食
2019/8/23 17:03 (2019/8/23 23:03更新)

保存 共有 印刷 複製 共有

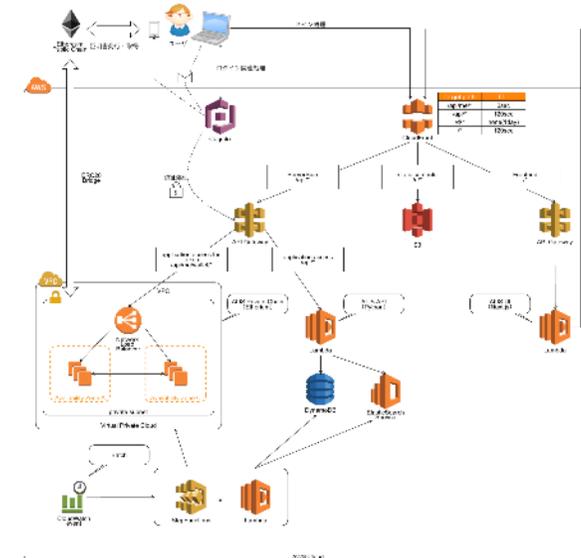


アマゾンクラウドサービス「AWS」で高いシェアを持つロイター

米アマゾン・ドット・コムが運営するクラウドサービス「アマゾン・ウェブ・サービス（AWS）」で23日、大規模なシステム障害が発生し、影響は広範囲に広がった。会社によると、同サービスを提供している東京近郊の4群あるデータセンターのうちの1つで問題が起きたという。障害が起きた原因は特定されたとしており、アマゾンによると午後10時すぎに復旧したとしている。

AWSの障害で影響を受けた主な企業	
企業	障害の状況
NTTドコモ	子会社のシェア自転車で貸し出しと返却に支障
PayPay	スマホ決済で支払いや入金できず
ユニクロ	通販サイトでログインや商品購入に支障
スターバックス コーヒージャパン	アプリ上でポイント残高を表示できず
ミクシィ	SNSのスマホ版に接続できず
freee	会計管理などのツールが利用できず
日本ビザハット	ネットで注文できず
DeNA	プロ野球の球団サイトが一時間閲覧できず
日本通運	社内外とのメールができず

ALISのサービスは無傷



https://www.nikkei.com/article/DGXMZO48918900T20C19A8EA1000/?n_cid=DSREA001

<https://alis.to/AB2/articles/3reB0dYNIIMmB>

特徴2 - 国内随一の学術的知見に基づくデジタルトークン設計力と実績

- デジタルトークン搭載プロダクトの**国内最長稼働実績**及び、そこから得た**最先端のデータ**
- 他には無い実践場所としての希少性から**大学教授や専門家との共同研究も複数進行中**
 - メカニズムデザインの国内第一人者である慶大・坂井教授**の学術的知見に基づくエコノミクス設計

坂井教授・Auction Labとの共同プレスリリース

ALISとAuction Lab、エコノミクス分野における共同研究を開始。メカニズムデザインの第一人者である坂井豊貴・慶大教授が全面協力

コミュニティ内での投票・評価のための仕組みをブロックチェーンソーシャルメディア「ALIS」で実装。共同イベントで研究結果もオープンに発信

株式会社ALIS 2019年7月19日 07時48分

259 いいね! シェア ツイート はてな 素材DL その他

ソーシャルメディア「ALIS」の運営及び、企業向けブロックチェーン開発支援を行うALISは、2019年7月19日（金）からAuction Labと共に、国内ブロックチェーン業界の発展及び、将来のWeb3.0時代における自律分散型コミュニティの発展・維持を目的とした共同研究を開始します。制度設計（メカニズムデザイン）の第一人者であり、Auction Labを開催する坂井豊貴・慶應義塾大学教授の協力を得て、コミュニティの合意形成に関する様々な仕組みを「ALIS」上で展開・検証していきます。



坂井豊貴教授 プロフィール
慶應義塾大学経済学部教授、(株) デューデリ&ディーラー チーフエコノミスト、不動産オークションに従事。米
国ロチェスター大学Ph. D. (Economics)。著書に『多数決を疑う』（岩波新書、高校教科書に掲載）、『マー
ケットデザイン』（ちくま新書）、『暗号通貨vs.国家』（SB新書）ほか。著書は多くアジアで翻訳されている。現
在、東京経済研究センター理事（財産管理運用担当）、読売新聞 読書委員などを併任。
<https://toyotakasakai.jimdofree.com/>

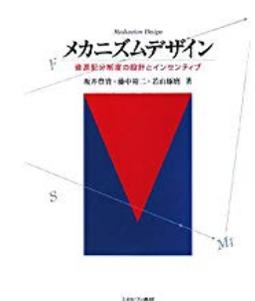
国内ブロックチェーン業界の発展を目的に、共同研究結果をAuction Lab で公開
本共同研究の成果については、今後、Auction Lab で開催するイベント等で紹介し、ブロックチェーン業界発展の
ために広く世の中に公開していく予定です。
2019年7月26日に行われるAuction Lab第8回ワークショップ「投票とレーティング」で共同研究内容の詳細を公
表しますので、ご興味のある方はぜひAuction Labのページ(<https://auction.amebaownd.com/posts/6557536>)からお申し込みください。

Auction Labについて
株式会社Dolphinsが運営する、「オークション」の活用を考えるビジネスパーソンと研究者の交流スペースです。
オンラインで情報を発信するとともに、オフラインでのワークショップを開催しています。
<https://auction.amebaownd.com/>

慶應義塾大学経済学部 坂井豊貴教授コメント



これまで紙と鉛筆で描かれていた設計図が、いよいよ社会に実装されるときがやってきました。実装するのは日本
を代表するブロックチェーンカンパニーのALIS。最初の試みは「マジョリティー・ジャッジメント」。すでに学界
では高い評価を確立している、投票やレーティングの画期的な新方式です。社会は凄まじい速さで変化しています



特徴3 - 有望なブロックチェーン企業としての社会的信用

メディア紹介実績の一例(累計300件以上)

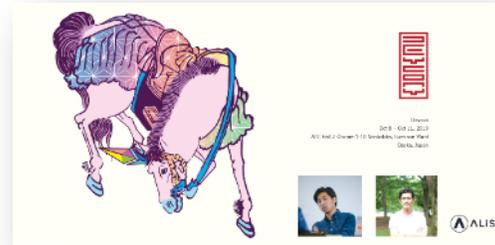
イベント登壇実績の一例(累計100件以上)



日本経済新聞



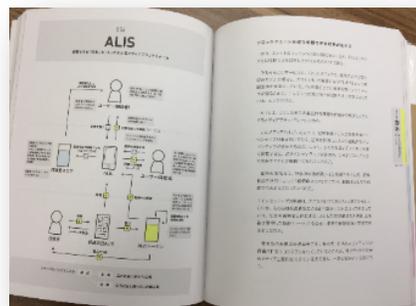
中央公論への寄稿記事



世界最大のイーサリアム開発会議「Devcon 5」に日本人スピーカー代表として選出



国内最大のブロックチェーンカンファレンス「b.tokyo」スピーカーにスタートアップ代表として選出



ビジネスモデル2.0図鑑 (ベストセラー)



NHKや日本テレビなど番組出演も多数



日本経済新聞、金融庁の共同開催イベント「FIN/SUM」に登壇



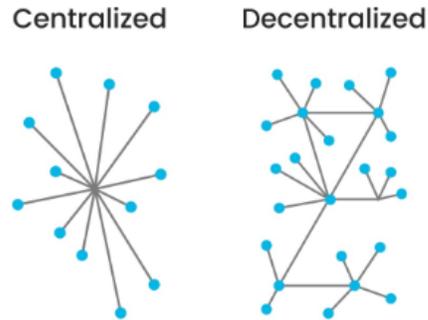
ロンドン、ドイツ、オランダ、シリコンバレー、ニューヨーク、ロシア、ベトナム、タイ、上海、ソウル、プサンなど世界10か国以上から招待を受け講演

ブロックチェーンがもたらす
構造変化

ブロックチェーンによってこれまでのインターネットが非連続的・劇的に変化する

価値のインターネット

トラストレス



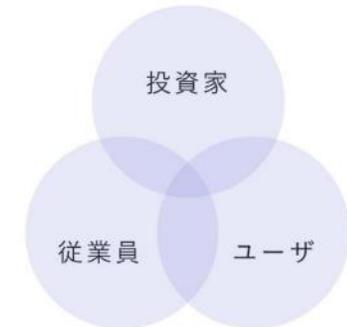
中抜きで利益を得てきた
プラットフォームが不要に！
(GAFA不要論)

デジタルデータの価値証明



今まで価値を測れなかった
ネットの行動履歴やアイテムが
価値を持ち始める！

通貨(トークン)発行権



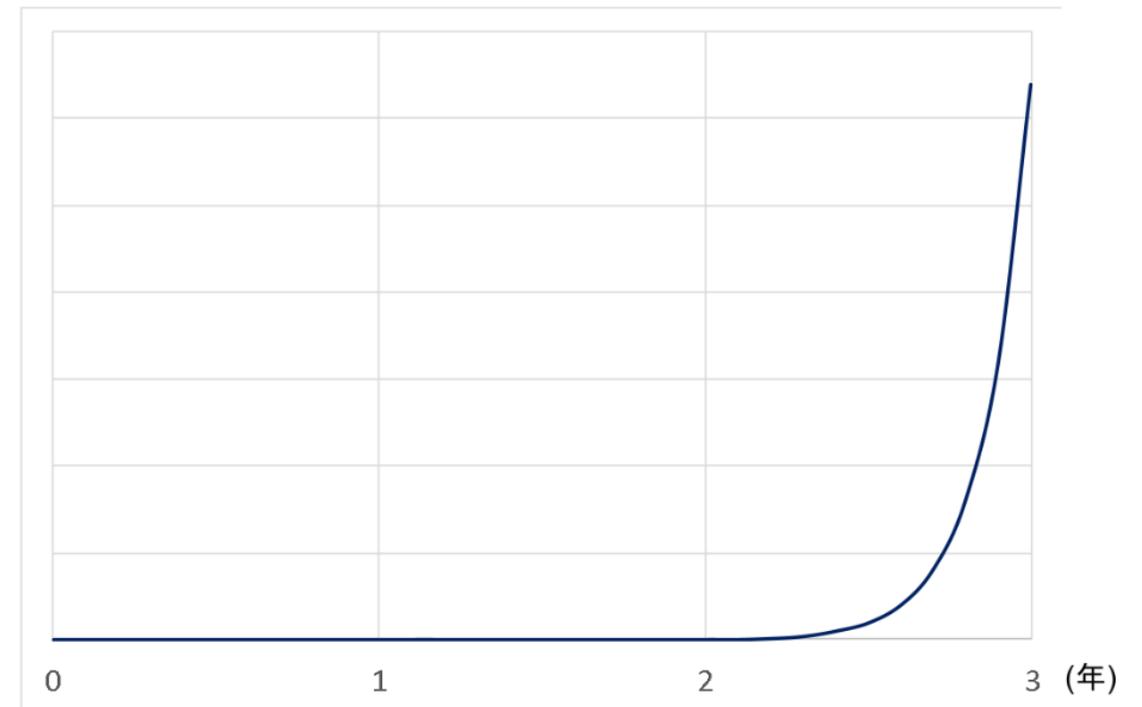
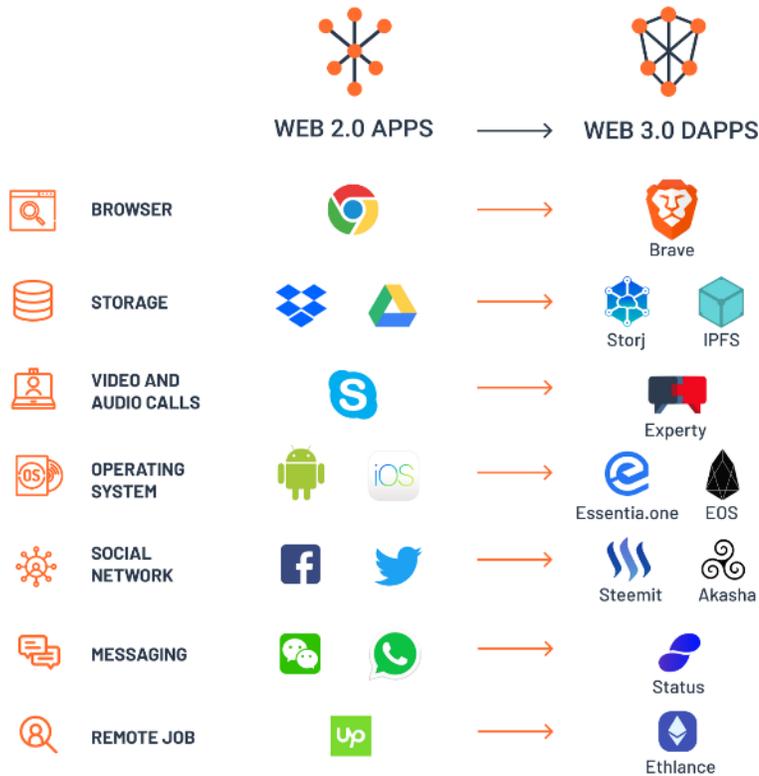
サービスの成功と個人の
社会的・経済的報酬を一体化
(トークンエコノミー)

Web3.0とはブロックチェーン業界が目指す、次のWebの姿

- 中央の存在しない、分散化されたネットワークで構築されたインターネット
- 個人のデータ（コンテンツ、ID、グラフ、評判）は個人に属し、創出された経済活動は個人に還元される

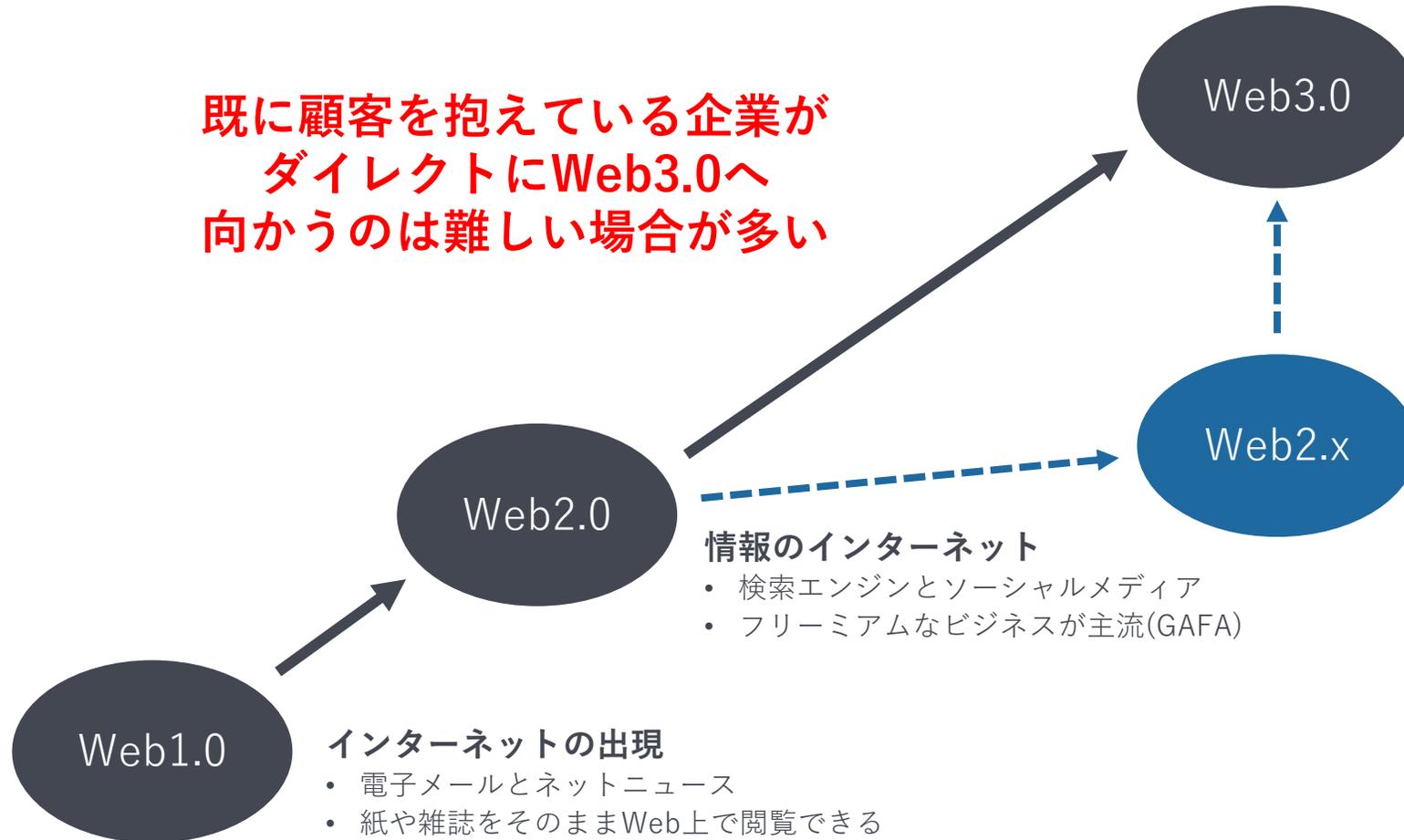
▼ほぼ全ての領域でWeb3.0時代のDappsが存在

▼時間が掛かるが、急激に訪れる



大企業はイノベーションのジレンマへ対処するためにWeb2.xの立ち位置から導入中

既に顧客を抱えている企業が
ダイレクトにWeb3.0へ
向かうのは難しい場合が多い



インターネットの出現

- 電子メールとネットニュース
- 紙や雑誌をそのままWeb上で閲覧できる

情報のインターネット

- 検索エンジンとソーシャルメディア
- フリーミアムなビジネスが主流(GAFA)

価値のインターネット

- ブロックチェーン、仮想通貨
- 個人のデータ（コンテンツ、ID、グラフ、評判）は個人に属し、創出された経済活動は個人に還元
- ビットコイン、イーサリアムなど

ブロックチェーンを活用しながら トレンド転換に備える(未来への投資)

- ブロックチェーン活用による経験の蓄積
 - Microsoft、各種金融機関、物流・不動産
- ユーザーへの収益分配テスト(トークンエコノミー)
 - Facebook、LIBE、エイベックス、JASRAQ、イード、リクルートなど

トークンの効用まとめ

Web3.0への投資

理由 1

個々が決定権の一部を持つ
分散型コミュニティという
新しい時代の萌芽を
持ち込める

Web3.0関係なく得られるメリットも大きい

理由 2

柔軟な報酬設計や
ユーザー間のつながりを
強化・促進する機能を
容易に作れる

理由 3

コスト削減と
情報セキュリティという
ブロックチェーンの効用を
そのまま活用できる

ポイントと比較してトークンは、コスト・セキュリティ・設計の柔軟性という3つの優位性がある

	ポイント	トークン *プライベート	トークン *パブリック	
システム構築コスト	×	○	○	コスト削減効果 規模が大きくなるほど恩恵を受やすい
システム運用コスト	×	◎	◎	
情報セキュリティ	△	◎	◎	高いセキュリティ(単一障害点が無い)
外部との相互運用性	△	○	◎	ユーザーが満足するUXを提供できないため、初期はプライベートから初めて将来パブリックを目指す企業が多い
UX	○	○	×	
経済・権利が絡む要件との親和性(コスト)	×	○	○	ポイントでは実装しづらい機能も、トークンなら極めて容易に実装可能 例：投げ銭、投票、配布等による経済インセンティブ、トークンの交換価値・権利価値
経済・権利が絡む要件との親和性(Trust)	×	△	○	

今回のご提案

Bitcoin、Ethereumなど

※参考 イノベーションのジレンマ(Facebook編)

現在、売り上げの98%が広告収入の
Facebookでさえも、

ブロックチェーンベースの
仮想通貨を発行予定(未来への投資)

Facebook 2018年Q3決算

In millions, except percentages and per share amounts	Three Months Ended September 30,		前年比変化率 Year-over-Year % Change
	2018	2017	
Revenue: 売上高			
Advertising 広告収益	\$ 13,539	\$ 10,142	33 %
Payments and other fees	188	186	1 %
Total revenue 総売上高	13,727	10,328	33 %
Total costs and expenses 総コストと経費	7,946	5,206	53 %
Income from operations 営業利益	\$ 5,781	\$ 5,122	13 %
Operating margin 営業利益率	42 %	50 %	
Provision for income taxes 法人所得税引当金	\$ 775		
Effective tax rate 実効税率	13 %		
Net income 当期純利益	\$ 5,137	\$ 4,707	9 %

